

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。  
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保存して下さい。

第2類医薬品

23

錠剤 さい こ かりゅうこつ ほ れい どう  
**柴胡加竜骨牡蠣湯**

**⚠ 使用上の注意**



**してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと  
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



**相談すること**

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
(1)医師の治療を受けている人。  
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3)体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。  
(4)胃腸が弱く下痢しやすい人。  
(5)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
軟便、下痢
4. 1ヵ月位（小児夜泣き、便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

**〔効能・効果〕**

体力中等度以上で、精神不安があって、動悸、不眠、便秘などを伴う次の諸症：  
高血圧の随伴症状（動悸、不安、不眠）、神経症、更年期神経症、小児夜泣き、便秘

### 〔用法・用量〕

食前1時間、温湯で服用する。

年齢	1回量	1日服用回数
大人	5～6錠	3回
7～13歳迄	3～5錠	
5～6歳迄	1～3錠	

### 〈用法・用量に関する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

### 〔成分・分量〕（本品100錠中）

日局	ブクリョウ末	3.0g	別紙規格	サイコ末	5.0g
日局	ケイヒ末	3.0g	別紙規格	ハンゲ末	4.0g
日局	オウゴン末	2.5g	別紙規格	タイソウ末	2.5g
日局	ショウキョウ末	1.5g	日局	ニンジン末	2.5g
日局	ホレイ末	2.5g	別紙規格	リュウコツ末	2.5g
日局	ダイオウ末	1.0g			

### 〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)小児の手のとどかない所に保管すること。
- (2)直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない、涼しい所に密栓して保管すること。
- (3)誤用をさけ、品質を保持するために、他の容器に入れかえないこと。
- (4)保存の状況が悪いと、場合によっては虫、カビ等がつくことが考えられますので、上記の注意を必ず守って下さい。

本剤は、原料として天然の生薬を用いていますので、製品により多少色が異なったり、開栓後、吸湿により錠剤の色が濃くなる場合がありますが、効果には変わりありません。

### 〔お問い合わせ先〕

一元製薬株式会社「お客様相談室」

〒171-0043 東京都豊島区要町3-4-10

電話：03-3957-2997

○受付時間：9:00～17:00（土、日、祝祭日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先

(独)医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話 0120-149-931



一元製薬株式会社

東京都豊島区要町3-4-10